

5. 足寄町認知症ケアパス（認知症の人の状態に応じた支援の流れ）

認知症の人が必ずしもこの通りの経過をたどるとは限りませんが、認知症の進行状況に合わせて、いつ、どこで、どのような支援を受けることができるのかを把握し、今後の見通しをつける参考としてください。

認知症の人の様子	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要	
	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類の作成等を含め、日常生活は自立	買い物や事務金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者の対応が一人では難しい	着替えや食事、トイレ等がうまくできない	ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難である	
期待される支援	○周囲による気づき ○相談窓口につなぐ ○適切な診断	○生活上の困難に対する支援 ○本人の「できること」を活かした支援 ○一人で外出した際の安全確保	○安全の確保 ○本人の「できること」を活かした支援 ○必要な医療処置の提供 ○急変時への対応	○安全の確保 ○本人の「できること」を活かした支援 ○必要な医療処置の提供 ○急変時への対応	○合併症の予防 ○本人の「できること」を活かした支援 ○必要な医療処置の提供 ○急変時への対応	
認知症の人を支援する方法等	介護予防・悪化予防 仕事・役割支援	みんなで食事をしたり、交流できる【老人クラブ、生きがいイブス、給食サービス、お達者クラブなど】				
		介護予防のための運動教室等に参加できる【あ・笑〜る、お達者クラブ、介護予防教室など】				
		早期に適切な支援や治療につなぐことができる【(新)認知症初期集中支援など】				
					悪化させないためにリハビリをしたり、みんなと交流できる【小規模多機能型居宅介護事業、通所介護、通所リハビリなど】	
		自主的な集まりの中で役割を持って活動できる【老人クラブ、お達者クラブ、各種サークルなど】				
	安否確認・見守り 緊急時支援 家族支援				特技や趣味を生かして活躍できる【高齢者就労センター、(新)介護支援ボランティアなど】	
		普段の生活の中で認知症の人の安否確認や見守りをしてくれる【緊急通報装置システム、高齢者保健福祉サービスセンター、認知症センター、民生委員、あんしん電話サービス、配食サービスなど】				
					機械で認知症の人の居場所を知らせてくれる【徘徊高齢者検索システム装置など】	
		介護について相談や勉強したり、介護者同士の情報交換や交流、介護をしていることを周囲の人に理解してもらいたいとき【リルック事業、(新)認知症カフェ(仮称)、介護マークなど】				
		急な用事ができて宿泊サービスが必要になったとき【短期入所、(新)生活支援長屋など】				
	生活支援	認知症の人の精神症状が強くなったとき【(新)認知症初期集中支援、認知症疾患医療センター(大江病院)など】				
		緊急時の連絡や認知症の人が行方不明になったとき【緊急通報装置システム、かえるネットワークなど】				
		自宅で簡単な生活支援をしてもらえる【日常生活支援事業、(新)生活支援サービス、高齢者就労センターなど】				
		病院までの送迎をしてくれる【患者輸送バス、足バス、外出支援サービス、通院支援事業など】				
	医療 介護	お弁当を配達してもらえる【配食サービスなど】				
除雪をしてもらえる【除雪サービス、高齢者就労センターなど】						
診断を受けられる【物忘れ外来(足寄国保病院)、かかりつけ医、認知症疾患医療センター(大江病院)など】						
住まい	自宅に医師や看護師、理学療法士、薬剤師が来てくれる【町内医療機関、北海道総合在宅ケア事業団など】					
	通って食事や入浴、リハビリなどのサービスを利用できる【小規模多機能型居宅介護事業、通所介護、通所リハビリなど】					
	自宅で家事や入浴介助などの支援をもらえる【小規模多機能型居宅介護事業、訪問介護など】					
住まい	一時的な住まい【(新)生活支援長屋など】					
	見守り付きの住宅【ケアハウスなど】					
				家庭的な環境と地域との交流の下で共同生活する住宅【認知症対応型共同生活介護など】		
			介護を受けられる施設【介護老人福祉施設、介護療養型老人保健施設など】			